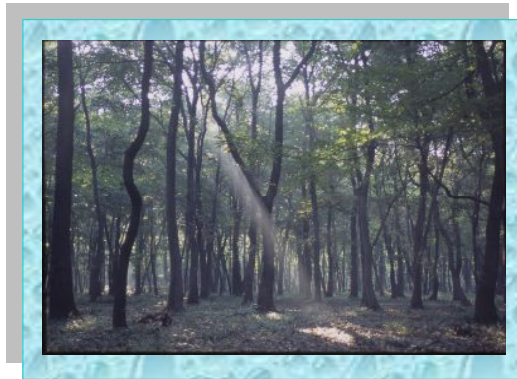


2008

# 環境報告書



相模原・木もれびの森

## 【 組 合 員 】

株式会社 朝日美装 相模原営業所  
有限会社 あすなろ

株式会社 アポロコミュニティ  
株式会社 サービスメイク

有限会社 ジャンプ・サービス  
株式会社 鈴成ビルサービス

大昇産業 株式会社

株式会社 ダイヤビルメンテナンス  
株式会社 ティーシーエス

株式会社 東海ビルメンテナンス 相模原営業所  
有限会社 日之出商事

Sagami Building Maintenance Cooperative

# さがみビルメンテナンス協同組合

## 環境活動

私たちの組合は、環境問題に対応しつつ「地域社会への貢献活動」が定着し、関係先との連携も深まってきました。

それらの概要を、当組合の「マネジメントレビュー」における理事長見解の一部として、以下に記述いたします。

### 一年を通じてのコメント

さがみビルメンテナンス協同組合

理事長 鈴木正博

2月に開催された『第15回環境・品質フォーラム』において、世界規模で関心の高い“地球温暖化”の現状を、映画「不都合な真実」をとおして視覚での理解を求めた企画として、参加者は改めて客観的な事実として知ることになったと思います。

また、日頃より業務従事者が職場や家庭で疑問に思っている事柄について、ディスカッション形式による意見交換をしましたが、思いのほか情熱が感じられ、大きな成果をあげることができたと思います。

さらに、これまでになかった外部の関係者にも呼びかけ、多くの方々に参加いただいた結果、組織としての環境保全に向けた取り組みが、自主改善とともに地域社会からの信頼・信用を深めることにつながったものと自負しています。

この他に、外部に向けた活動としては、神奈川県中小企業団体中央会主催の『CSR = 企業の社会的責任について』パネルトークで、当組合の環境活動と社会貢献活動の事例を紹介して、異業種団体との交流をとおして多面的な活動の相互理解を深め、今後の組合事業活動の方向性に、おおいに役立つものと考えます。……写真参照……

また6月には、前述の神奈川県中小企業団体中央会が統括する専門委員会である『環境委員会』の委員として推挙され、任期2年の中で県下中小企業のかかえる諸問題・遭遇する諸情勢について、業種ごとに迅速かつ確かな意見の聴取や、実態調査による打開策の研究結果を神奈川県中小企業団体中央会会長に答申するなど、これらの機関に所属できたことは、当業界の地位確立に大きく貢献するものと期待しています。



## 目標および達成状況

相模原市において「洗剤対策指針」が改定され、この新しい指針に沿って下図の目標を掲げて活動した結果、洗剤の切り替え可能なものはすべて切り替えました。

但し、適切な洗剤が無いために切り替え出来ないものが1種類あり、これは年2回使用しています。

また、各社・各現場の経緯から独自の洗剤を使用していましたが、これを契機に統合することも目標に掲げました。

なお、洗剤の減量化については、希釈に『軟水』を活用した現場では相当な減量となり、次年度は可能な限り全現場にも展開していく予定であります。

品質面への取り組みは、全現場まで対応できず、重点現場のみの取り組みとなり、これを事例として次年度へつなげていく足掛かりとなりました。

### 【改善への取組項目】

項目	目的	推進内容	目標	結果	評価
環境改善	水環境への負荷の低減	相模原市洗剤対策推進指針の実行	切り替え	PRTR法 抵触洗剤 一部あり (届出する)	○
		PRTR法抵触洗剤の排除	全社 洗剤の統合	次年度へ 繰越	×
		洗剤使用の適正化、減量化 ① 軟水の利用 ② 洗剤使用箇所の限定	前年比 20%減	取組全社合 計 22%減	◎
		廃液処理における緩衝剤の検討	緩衝剤の 作成	出来なかつ た (担当者 長期欠勤)	×
	資源 エネルギーの 削減	水に関して ① 自動灌水装置の維持管理 ② 排水の回収、再利用	無駄使用の 抑制と 節水量の把握	約0.7トン の 有効利用	◎
その他	清掃品質の 維持、向上	作業工程の検討、実施 作業教育 現場品質点検および巡回検査、 改善提案の実施	基準チェック ポイントの 90%以上確保	取組現場に おける状況 平均94%	◎

### 【維持管理を目標とする項目】

その他維持管理10項目については、大幅な増減はなく、特筆すべきものはありません。

## 環境監査

### ◆ 外部審査機関による審査 ◆

外部審査においては、更新審査後の第2回維持審査となりますが、今回はじめて不適合0件でしたが、審査員から示唆に富んだお話をいただきました。

#### 【維持審査結果】

外部審査機関	EQA 国際認証センター	審査期間	平成20年6月24日
審査員	2名	被審査部所	組合事務所および組合員4社
審査結果概要	不適合0件および観察事項6件 観察事項の主な内容 ① 内部監査の管理の再検討を期待する ② 予防処置を中心とした運用を期待する ③ 環境実行計画書未達成部分の見直し、検討		

### ◆ 内部環境監査 ◆

内部環境監査の結果、軽微な欠点として単純なものが多く、観察事項に今後の問題が指摘されました。

#### 【内部監査結果】

監査期間	平成20年2月～5月
被監査部所	組合員企業全11社ならびに各現場および組合事務所
内部監査員	10名
監査結果概要	軽微事項6件および観察事項8件 軽微事項： 記録等記載事項の漏れがある 文書、記録の整理が悪い 観察事項： 社内連絡網が不十分 緊急事態の手順書が不備 環境情報連絡書の発行に関する事項 関係法令の拡充事項

## 環境教育

### ◆ 環境・品質フォーラムの開催 ◆

今回で第15回となる「環境・品質フォーラム」は、平成20年2月に開催され、世界的に盛り上がってきた“温暖化による地球の現状”を映画化された『不都合な真実』の上映鑑賞と、従事者による『意見交換』の二つのテーマで実施しました。

組合関係者以外の異業種の方々にも呼びかけ、参加者は100名を超えこれまでのフォーラムと比較しても大変盛会でありました。

『意見交換』は、各自が仕事の中で困っていることや、成功したこと、さらには決意を述べる人もあり、参加者から同感の「うなづき」も見受けられました。

フォーラムにおいて恒例となりました『標語』は、“環境”“品質”“労働安全”のテーマで募集し、応募総数109件の中から以下の6件を入選としました。

【入選標語】(順不同・敬称略)

- 『毎日の同じ作業も慎重に 心の油断がクレームに』……………泉田トシ子
- 『分別で ゴミも資源の宝物』……………宇橋治夫
- 『クレームも 対応一つで信頼へ』……………富永ひとみ
- 『セーター一枚重ね着で 室温1度の調整を』……………大久保千恵子
- 『広めよう「もったいない」の心がけ』……………秋山俊彦
- 『ほうれんそう(報告・連絡・相談)の徹底で 防ごうクレーム 伸ばそう信用』……………狭間久雄



### ◆ 環境・品質管理委員会の勉強会 ◆

資機材メーカーの提案説明を兼ねて、2回の勉強会を行いました。

名 称	メーカー名	実施月
新型ポリッシャーについて	(株)ペンギンワックス	平成20年2月
カーペット清掃システムについて	ジョンソンディバーシー(株)	平成20年7月

いずれも、環境に配慮した資機材で、買い替え時の参考としていきます。

## 環境社会活動- I

### ◆ 中学生職場体験受け入れ ◆

昨年に引きつづき、相模原市教育委員会からの依頼により、中学 2 学年生徒による清掃および設備管理業務に関する『職場体験』の受け入れ実施をいたしました。

授業は延べ 8 日間にわたり実施し、「座学」は組合員である会社社長が自ら担当し、「実務」は現場主任者などが指導にあたりました。

いわゆるホームルームにあたる「懇談会」もカリキュラムに組み入れ、生徒諸君との愉快的な会話も交えて、我々日常の業務を離れ楽しい日々となりました。

学校名	生徒数	体験日数	体験場所
相模原市立弥栄中学校	5 名	3 日間	相模原市役所本庁舎 および 相模原市立産業会館
相模原市立小山中学校	4 名	5 日間	

後日、生徒一人ひとりから嬉しい手紙が届きましたので、その一部を紹介いたします。

『僕は、正直職場体験は面倒くさくて行きたくなかった。だって、第 3 希望の清掃だったからもっと行く気が失せて・・・(中略)・・・でも、職場に行ってみると職場の人がすごく親切に仕事の内容を教えてくれるので、チョットやる気が出た。(中略)

普通見られない場所を見学させてもらい、すごく親切にわかりやすく説明してもらった。

ホームルームでは、お菓子をもらってとても楽しいことばかりであった。(中略)

2 日目の午前中に落ち葉掃きをやった。清掃しているときに通りかかったほとんどの人は「頑張ってるね」と言われ、それが嬉しくて頑張ってやったが、簡単と思っていた落ち葉掃きが、異様に疲れて大変だった。

午後は、ワックス掛けをやった。名前は忘れたけど、変な機械を使って清掃した。その機械が楽しかった。教室が綺麗になってみんながすごいキレイと言ってきて、すごく達成感があった。すごく嬉しかった。

3 日目が終わり、仕事の大変さや楽しさがわかって良かった。』



## 環境社会活動-Ⅱ

### ◆ 職業技術指導講師の派遣 ◆

今年もまた、知的障害者に対する『清掃技能習得』のための講師数名を派遣しました。

派遣先	受講者数	講習日数	講習内容
国立県営 神奈川障害者職業能力開発校	29名	31日間	環境サービス実習に 関する教科指導



### ◆ 相模原市民桜まつり参加 ◆

第35回相模原市民桜まつりには、“清潔な環境づくりと資源のリサイクル”をめざして、今年も『空き缶回収キャンペーン』を実施しました。

空き缶持参者には、組合員ならびに賛助会員から寄贈の景品を進呈し、回収した空き缶は売却し、相模原市社会福祉協議会へ寄付しました。

開催日	組合員延べ参加人員	空き缶回収総数
平成20年4月5日～6日	29名 (市民35万人)	9,500個



## コミュニケーション

### ◆ 外部コミュニケーション ◆

利害関係者からの苦情は2件発生しました。

いずれもちょっとした不注意が主な原因となっています。

これらの失敗事例は、他現場の従事者への教育に活用し、また、各作業における最終確認の徹底を行って再発防止に努めます。

項目	内容	件数
定期清掃	器具清掃における不具合	1件
日常清掃	作業中の騒音	1件

### ◆ 内部コミュニケーション ◆

内部コミュニケーションとしては、各社の環境・品質管理委員で構成する委員会を7回開催し、環境管理上の各社の推進状況、課題、内部監査結果等、その他諸情報の交換を行いました。

また、この委員会において、専門メーカーや同業者の調査研究内容の勉強会も、併せて行ってきました。 — 環境教育のページ参照 —

内部についての不具合等は、3件発生しました。

項目	内容	件数
定期清掃	床清掃の不具合	2件
日常清掃	手順書の違反（目的外使用）	1件

